

平成20年度

# 事業概要報告

自 平成20年4月 1日  
至 平成21年3月31日

財団法人 黒住医学研究振興財団

## I. 研究助成事業

財団寄付行為第4条第1号に規定される研究助成事業は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究に対して助成するものである。

研究助成の対象は、医学関連の大学、教育機関、研究所、及び医療機関等において、当該事業の目的に従事している者から申請を募り、申請者を各専門分野の審査委員が採点した後、選考委員会で慎重に審議して研究助成の対象者を決定するものである。

当該事業は、平成5年度から開始しており、今年度は第16回目に当たり申請数は172件であり、研究助成は13件（13名）に贈呈することとした。

なお、贈呈式は平成20年10月24日東京會館にて行なわれた。

対象者の氏名、研究課題は次のとおりである。

### 「平成20年度 研究助成の受贈者等」

あんどう まさこ

#### 1. 安藤 匡子

(所属機関) 東京農工大学大学院 共生科学技術研究院・農学部獣医学科(兼務) 助教 獣医学博士

(研究課題) 「ヒトと動物において異なる Q 熱病態の発生に関わる菌体抗原の探索」

(助成金額) 70 万円

かわらい たけと

#### 2. 河原井 武人

(所属機関) 国立感染症研究所 細菌第一部 研究員 生物資源科学博士

(研究課題) 「唾液 sIgA 抗体を利用した口腔疾患の迅速リスク診断システムの開発」

(助成金額) 90 万円

くわはらこういちろう

#### 3. 桑原 宏一郎

(所属機関) 京都大学大学院 医学研究科 内分泌代謝内科 講師 医学博士

(研究課題) 「心不全重症度判定における血中クロモグラニン A 濃度測定の意義とその不全心からの分泌機序の解明」

(助成金額) 90 万円

ごとう たかあき

#### 4. 後藤 貴章

(所属機関) 東北大学大学院 薬学研究科 講師 薬学博士

(研究課題) 「臨床応用を目的とした生理活性ペプチドの化学修飾情報解析のシステム化」

(助成金額) 70 万円

しもだ まさゆき

#### 5. 下田 将之

(所属機関) 慶應義塾大学医学部 病理学教室 助教 医学博士

(研究課題) 「肺癌患者の診断と病勢モニタリングのための ADAM28 測定系の開発」

(助成金額) 70 万円

すえひろ ゆたか

#### 6. 末広 寛

(所属機関) 山口大学大学院 医学系研究科 臨床検査医学 講師 医学博士

(研究課題) 「子宮体がん検診への応用を目指したメチル化遺伝子の網羅的解析」

(助成金額) 70 万円

- たかい だいや  
7. **高井 大哉**  
(所属機関) 東京大学医学部附属病院 検査部 講師 医学博士(甲種)  
(研究課題) 「肺扁平上皮癌における細胞周期調節遺伝子 G0S2 の過剰なメチル化を用いた診断への応用並びに、術後再発、化学療法反応性と相関についての検討」  
(助成金額) 90 万円
- たなか ひろし  
8. **田中 完**  
(所属機関) 弘前大学医学部附属病院 小児科 講師 医学博士  
(研究課題) 「腎糸球体疾患患者の尿沈査細胞を用いた各種機能分子 mRNA 発現の解析」  
(助成金額) 90 万円
- たべ ようこ  
9. **田部 陽子**  
(所属機関) 順天堂大学医学部 臨床検査医学教室 准教授 医学博士  
(研究課題) 「濾胞性リンパ腫 Bc12/IgH 再構成遺伝子の Real-timePCR と PCR 産物サイズ測定を組み合わせた日常検査法の確立」  
(助成金額) 90 万円
- なかや ただし  
10. **中矢 正**  
(所属機関) 北海道大学大学院 薬学研究院 助教 薬学博士  
(研究課題) 「P3-Alc を用いた新規アルツハイマー病診断バイオマーカーの定量法構築」  
(助成金額) 70 万円
- みま あきら  
11. **美馬 晶**  
(所属機関) 徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 病態情報医学講座  
腎臓内科学分野 助教 医学博士  
(研究課題) 「新規マーカー、尿中 Smad1 による慢性腎臓病(CKD)と虚血性心疾患早期診断への応用」  
(助成金額) 70 万円
- よこた しんいち  
12. **横田 伸一**  
(所属機関) 札幌医科大学医学部 微生物学講座 准教授 薬学博士  
(研究課題) 「小児鉄欠乏貧血患者由来ヘリコバクター・ピロリ分離株における鉄獲得能亢進の分子機構解明と診断への応用」  
(助成金額) 90 万円
- わだ たかゆき  
13. **和田 崇之**  
(所属機関) 大阪市立環境科学研究所 微生物保健担当 研究員 医学博士  
(研究課題) 「ゲノム比較および疫学的情報に基づいた結核菌の統合的理解と分子型別監視体制の確立」  
(助成金額) 90 万円

計 13名 研究助成金総額 1,050 万円

## II. 顕彰事業

財団の寄付行為第4条第2号および第3号に規定されている顕彰事業は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する優れた研究成果に対する顕彰で「小島三郎記念文化賞」と呼称し、他に臨床検査技師及び衛生検査技師等において優れた検査方法、術式の開発に成果を収めた者と当該分野における人材の育成に優れた成果を収めた者に対する顕彰で、これには「小島三郎記念技術賞」と「福見秀雄賞」があり、各賞とも毎年1回贈呈している。

### ①. 第44回小島三郎記念文化賞の贈呈

小島三郎記念文化賞は、主として病原微生物学、感染症及び公衆衛生学その他これに関連した領域において、学問的に顕著な業績で、しかも我が国の文化に貢献したと思われる研究に対して、贈呈するものである。

当該賞の候補対象者については、大学の衛生学、公衆衛生学、微生物学、寄生虫学、感染症学、病理学、免疫血清学の教授、各都道府県衛生研究所長、衛生部長等並びに関係機関の長から該当者の推薦を得た候補者について、推薦理由、研究歴、発表論文等を選考委員会が慎重に審査したうえで、優秀な業績のあった者に賞を決定するものである。

平成20年度における第44回小島三郎記念文化賞の候補対象者数13件のうちから1件を決定したもので、この贈呈者の氏名及び業績は次のとおりである。

なお、同賞の贈呈式は平成20年10月24日東京會館にて行なわれた。

(氏名)	(所属機関)
おかもとひろあき <b>岡本 宏明</b> 業績の題目	自治医科大学感染・免疫学講座ウイルス学部門 教授 医学博士 「肝炎ウイルスの分子医学的研究とその応用」

### ②. 第43回小島三郎記念技術賞の贈呈

小島三郎記念技術賞は、臨床並びに衛生検査領域において、すぐれた検査方法、術式の考案改良を行い、また、検査技術の普及発展に功績のあった技術者に贈呈するものである。

贈呈する対象は、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、各臨床衛生検査技師会長、検疫所長、大学病院中検部長、小島三郎記念技術賞受賞者等から該当者の推薦を得た候補者について、推薦理由、研究歴、並びに論文等を選考委員会が慎重に審査した上で、優秀な業績のあった者に贈呈を決定するものである。

平成20年度の候補対象件数25件のうち6名を決定したものであり、贈呈式は平成20年5月23日、野口英世記念会館にて行なわれた。

贈呈者の氏名、所属は次のとおりである。

(氏名)	(所属機関)
おくみやとしか <b>奥宮 敏可</b> 業績の題目	(熊本大学医学部 保健学科 准教授) 「混合白血球を用いたⅡ型糖原病のための新規酵素診断法の開発」
かめこ みつあき <b>亀子 光明</b> 業績の題目	(財団法人 長野保健医療公社 長野市民病院 診療技術部 診療技術部長) 「血漿蛋白における生理的変動幅の解析と免疫学的測定法の施設間差是正のための研究」
そね みちこ <b>曽根美智子</b> 業績の題目	(独立行政法人 国立病院機構 香川小児病院 研究検査科 病理主任) 「染色体検査・FISH 検査技術の考案改良および普及発展と後進の育成」
ながさわ ぜんぞう <b>永沢 善三</b> 業績の題目	(佐賀大学医学部附属病院 検査部 副臨床検査技師長) 「我が国初の総合感染症コントロールシステムの構築と普及活動」

ひだか ひろや

**日高 宏哉** (信州大学医学部 保健学科 検査技術科学専攻 准教授 医学博士)  
業績の題目 「高比重リポ蛋白質(HDL)の代謝機序の解明とその分析法の開発」

みやにし せつこ

**宮西 節子** (財団法人 天理よろづ相談所 医学研究所 主任臨床検査技師)  
業績の題目 「リンパ系腫瘍の遺伝子解析法の臨床応用と人材育成」

### ③. 第27回福見秀雄賞の贈呈

福見秀雄賞は、臨床検査、衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発、向上に努力し、かつ後進の指導育成に貢献あった者に贈呈するものである。

贈呈する対象は、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、各臨床衛生検査技師会長、検疫所長、大学病院中検部長、小島三郎記念技術賞受賞者、福見秀雄賞受賞者等から該当者の推薦を得た候補者について、推薦理由、職歴、並びに論文等を選考委員が慎重に審査した上で、優秀な業績のあった者に贈呈するものである。

平成20年度の候補対象件数は19件のうち5名を決定したものであり、贈呈式は平成20年5月23日、野口英世記念会館にて行なわれた。

贈呈者の氏名所属は次のとおりである。

(氏名) (所属機関)

いまむらふみあき

**今村 文章** (学校法人 九州医学技術専門学校 副校長)

しらいし ゆきお

**白石 幸雄** (学校法人 山陽女学院 山陽女子短期大学 臨床検査学科 准教授 兼 広報部長)

たきざわ とおる

**滝澤 通** (長野赤十字病院 病理部 病理検査課長)

たてわき けんいち

**立脇 憲一** (前 滋賀医科大学医学部附属病院 検査部 副部長 兼 臨床検査技師長)

ひろせ えいじ

**廣瀬 英治** (熊本保健科学大学 衛生技術学科 教授)

## Ⅲ. 公益法人制度改革への対応

公益法人制度の改正に伴う、新公益財団法人への認定取得のための準備作業として、平成20年度も証券会社等主催の各講習会に出席して制度改革内容及び新会計基準についての情報収集、並びに新定款(案)をはじめ関連規定類の策定等に努めた。また、公益法人協会からの助言を得ながら平成22年3月を申請目標とすることを、3月の理事会・評議員会において報告し、承認を得た。

## Ⅳ. 当財団事務所移転に伴う対応

平成20年7月上旬に栄研化学(株)本社移転(移転先：東京都台東区台東4-19-9山口ビル7)に伴い当財団事務所も同ビル3階に移転し、速やかに登記変更手続き並びに厚生労働省をはじめ各関係機関等への連絡及び変更手続きを完了し、新事務所としての稼働を開始した。

## Ⅴ. ホームページのリニューアル

開設当初より変更していないホームページを平成21年1月よりリニューアルして、内容を充実させると共に閲覧し易いデザインに変更し、財団に対する認知度の高揚を図った。

以上